

内訳概況書の達人

from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2 (概況書) 運用ガイド

この度は、「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」は、応研株式会社の「大蔵大臣個別原価版 NXVer2」の会計データを「内訳概況書の達人」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール手順	5
パターン①「達人Cube」からアップデートする場合	5
パターン②「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
パターン①	
「大蔵大臣個別原価版NXVer2」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	11
パターン②	
「大蔵大臣個別原価版NXVer2」と「内訳概況書の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	12
5.操作手順	13
パターン①	
「大蔵大臣個別原価版NXVer2」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	13
パターン②	
「大蔵大臣個別原価版NXVer2」と「内訳概況書の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	20
6.連動対象項目	27
「大蔵大臣個別原価版NXVer2」から連動するデータ(連動元)	27
「内訳概況書の達人」に連動するデータ(連動先)	29
法人事業概況説明書【平成 20 年 4 月 1 日以後終了事業年度用】	30
法人事業概況説明書【平成 19 年 4 月 1 日以後終了事業年度用】	32
法人事業概況説明書【旧様式】	34
7.アンインストール方法	36
8.著作権・免責等に関する注意事項	37

1.対応製品

「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」に対応する NTT データの対応製品及び心研の対応製品は以下のとおりです。

対応製品	対応アプリケーション
NTT データ対応製品	内訳概況書の達人(平成 16 年度以降用) Professional Edition
	内訳概況書の達人(平成 16 年度以降用) Standard Edition
心研対応製品	大蔵大臣個別原価版 NXVer2
	大蔵大臣個別原価版 NXVer2Super
	大蔵大臣個別原価版 NXVer2ERP

2.動作環境

「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」に必要な動作環境は「1.対応製品」(P.3)に記載の[応研対応製品]と同様です。また、インストールにはハードディスクの空き容量が20MB 必要です。



注意

- ・ 「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」のインストールやプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」(P.3)に記載の[応研対応製品]のいずれかがインストールされている必要があります。
- ・ 「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」の起動中に、「大蔵大臣個別原価版 NXVer2」の起動、及びアンインストールを行うことができません。

3.インストール手順

「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。



注意

Microsoft Windows 7/Vista では、インストール作業中に[ユーザーアカウント制御]画面が表示されることがあります。その場合は[はい]ボタンをクリックして作業を進めてください。

パターン①

「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人 Cube」にログインし、拡張機能メニュー [アップデート] をクリックします。



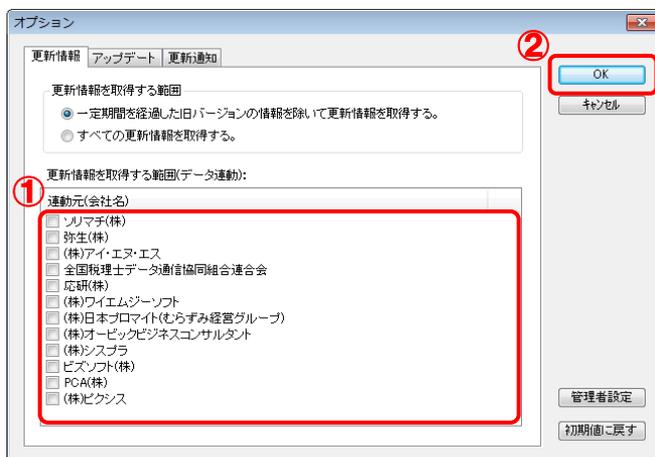
[アップデート]画面が表示されます。

2. ユーティリティ [オプション] をクリックします。



[オプション]画面が表示されます。

3. [更新情報] タブー [更新情報を取得する範囲 (データ連動)] において該当の [連動元 (会社名)] にチェックを付け (①)、[OK] ボタンをクリックします (②)。



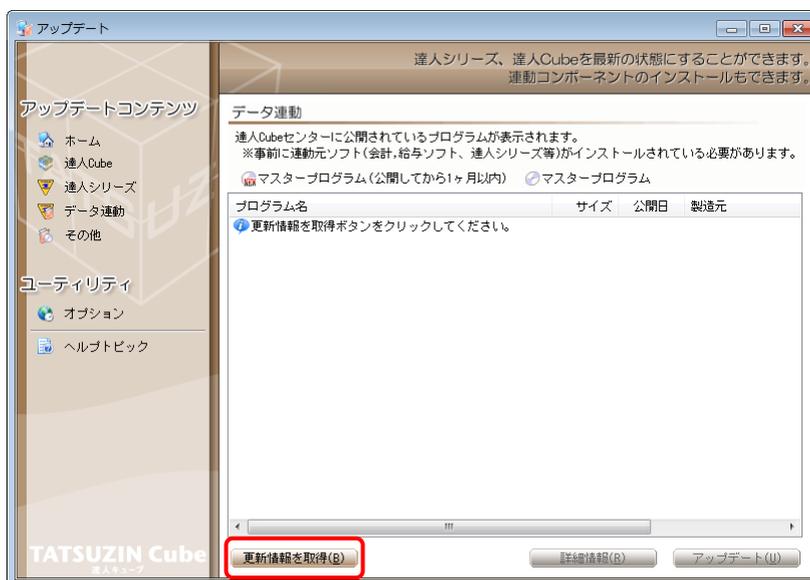
[アップデート]画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ [データ連動] をクリックします。



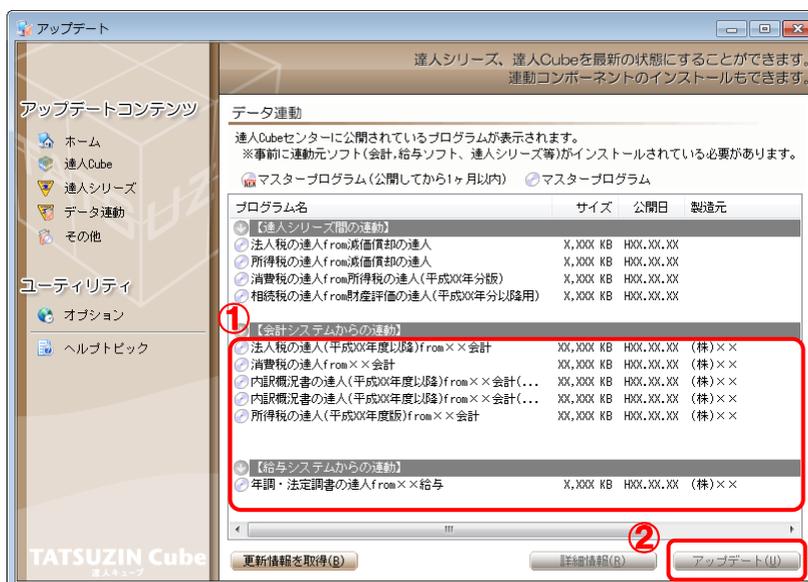
[データ連動]画面が表示されます。

5. [更新情報を取得] ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

- 6.** 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート] ボタンをクリックします(②)。



Install Shield ウィザードが表示されます。

- 7.** [次へ] ボタンをクリックします。
[ユーザ情報] 画面が表示されます。
- 8.** ユーザ情報を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。
[ファイルコピーの開始] 画面が表示されます。
- 9.** [次へ] ボタンをクリックします。
インストールが開始されます。
- 10.** Install Shield ウィザード完了の画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

以上で、「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2 (概況書)」のインストールは終了です。

パターン②

「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動会計・給与ソフトのページ
(<http://www.tatsuzin.info/rendousoft/>) を開きます。



2. 該当の連動会計・給与ソフトメーカーの [連動コンポーネントをダウンロードする] ボタンをクリックします。

該当の連動会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。

3. 該当の連動コンポーネントの [連動コンポーネントをダウンロードする] ボタンをクリックします。

[ファイルのダウンロード]画面が表示されます。

4. [保存] ボタンをクリックします。

[名前を付けて保存]画面が表示されます。

5. [保存する場所] を指定して、[保存] ボタンをクリックします。

[保存する場所]に指定した場所にファイルがダウンロードされます。

- 6.** 手順 5.でダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
Install Shield ウィザードが表示されます。
- 7.** [次へ] ボタンをクリックします。
[ユーザ情報]画面が表示されます。
- 8.** ユーザ情報を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。
[ファイルコピーの開始]画面が表示されます。
- 9.** [次へ] ボタンをクリックします。
インストールが開始されます。
- 10.** Install Shield ウィザード完了の画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

以上で、「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2 (概況書)」のインストールは終了です。

4.運用方法

「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」は、「大蔵大臣個別原価版 NXVer2」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「大蔵大臣個別原価版 NXVer2」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

「大蔵大臣個別原価版NXVer2」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

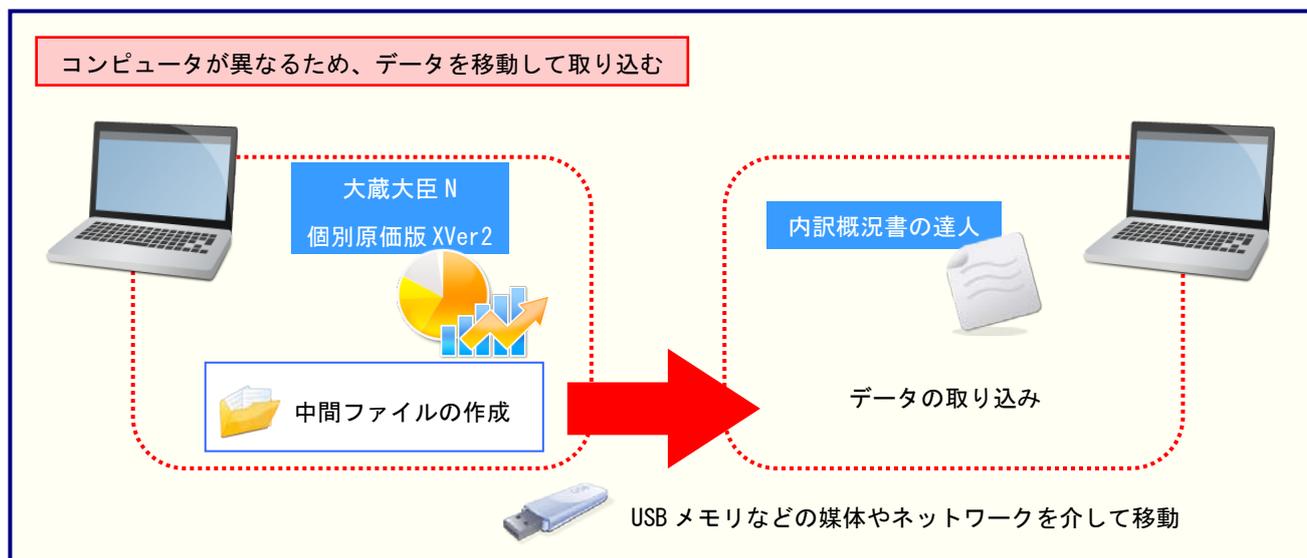
「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」で作成された中間ファイルを直接「内訳概況書の達人」に取り込みます。



パターン②

「大蔵大臣個別原価版NXVer2」と「内訳概況書の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

「大蔵大臣個別原価版 NXVer2」がインストールされているコンピュータで中間ファイルを作成し、「内訳概況書の達人」がインストールされているコンピュータで取り込みます。



5.操作手順

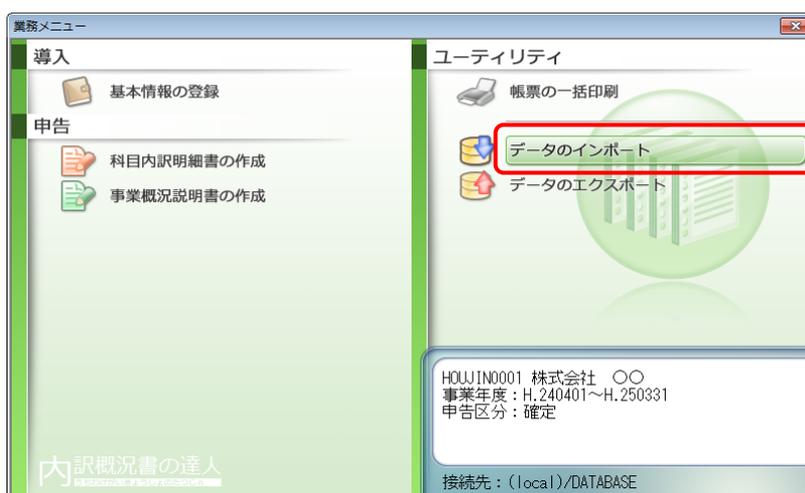
「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」を使って、以下の手順で連動します。
事前に「6.連動対象項目」(P.27)を必ずお読みください。

操作手順は、「大蔵大臣個別原価版 NXVer2」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

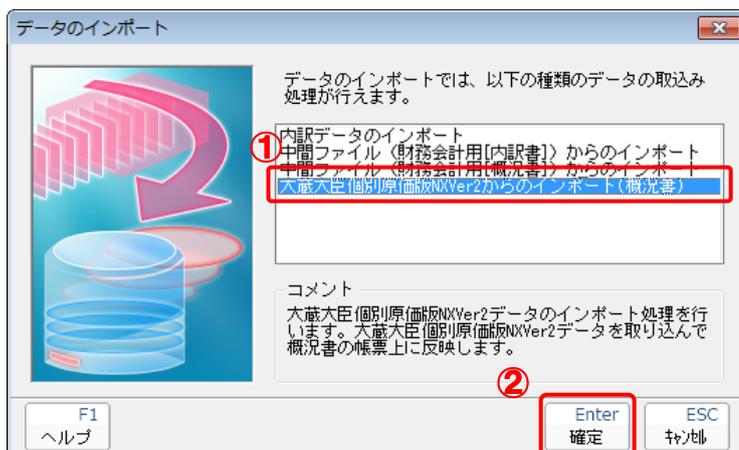
「大蔵大臣個別原価版NXVer2」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

1. 「内訳概況書の達人」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー [データのインポート] をクリックします。



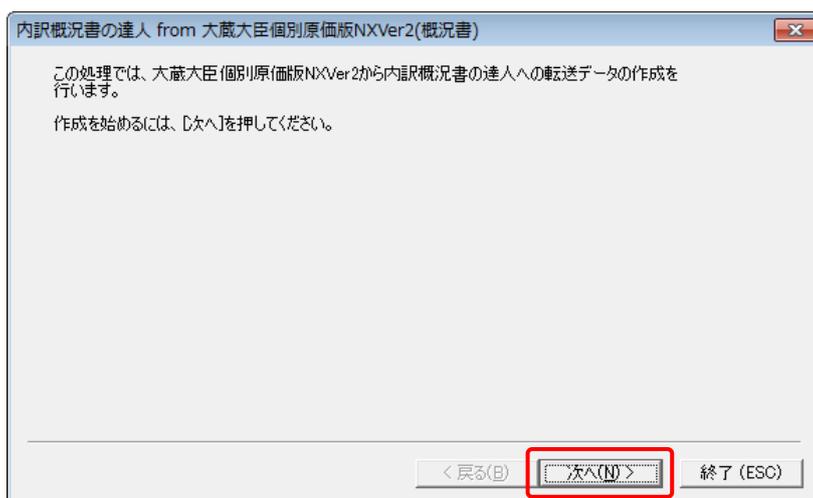
[データのインポート]画面が表示されます。

2. [大蔵大臣個別原価版 NXVer2 からのインポート (概況書)] をクリックして選択し (①)、
[確定] ボタンをクリックします (②)。



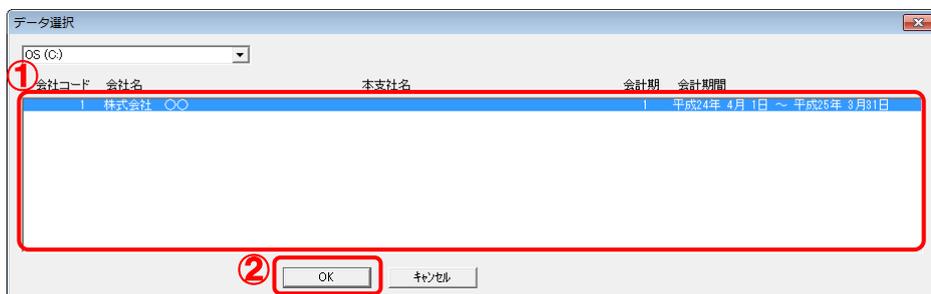
[内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2 (概況書)] 画面が表示されます。

3. [次へ] ボタンをクリックします。



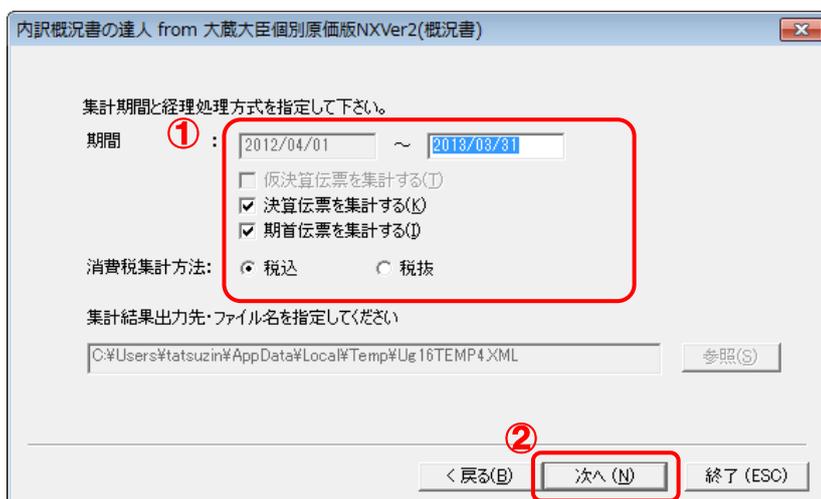
[データ選択] 画面が表示されます。

4. 「内訳概況書の達人」に取り込む「大蔵大臣個別原価版 NXVer2」のデータをクリックして選択し (①)、[OK] ボタンをクリックします (②)。



集計期間と経理処理方式を指定する画面が表示されます。

5. 集計期間と経理処理方式を指定し (①)、[次へ] ボタンをクリックします (②)。



主な損益科目の集計項目を設定する画面が表示されます。

6. 主な損益科目の集計項目を設定し(①)、[次へ] ボタンをクリックします(②)。

内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版NXVer2(概況書)

※「主な損益科目」の集計項目を設定して下さい

科目	集計項目	
① 売上(収入)高	4111:売上高	その他1科目
上記のうち兼業売上(収入)高	未設定	
売上(収入)原価	未設定	
期首棚卸高	未設定	
原材料費(仕入高)	未設定	
労務費	5421:賃金手当(原)	その他2科目
外注費	5431:外注加工費(原)	
期末棚卸高	未設定	
減価償却費	未設定	
地代家賃・租税公課	未設定	
売上(収入)総利益	未設定	
役員報酬	未設定	
従業員給料	未設定	
雑費	未設定	

項目設定(S)

<戻る(B) ② 次へ(N) 終了(ESC)

主な貸借科目の集計項目を設定する画面が表示されます。

※[項目設定]ボタンをクリックして表示される画面から設定します。

※リスト上に表示されていない集計先を選択したい場合は、[科目選択]画面の「全ての科目から選択する」にチェックを付けると、リストに表示されていなかった他の集計先科目も表示されます。

7. 主な貸借科目の集計項目を設定し(①)、[次へ] ボタンをクリックします(②)。

内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版NXVer2(概況書)

※「主な貸借科目」の集計項目を設定して下さい

科目	集計項目	
① 資産の部合計		
現金預金	1111:現金	その他5科目
受取手形	未設定	
売掛金	未設定	
棚卸資産(未成工事支出金)	1131:商品	その他31科目
貸付金	未設定	
建物	未設定	
機械装置	未設定	
車両・船舶	未設定	
土地	未設定	
負債の部合計		
支払手形	未設定	
買掛金	未設定	
個人借入金	未設定	

項目設定(S)

<戻る(B) ② 次へ(N) 終了(ESC)

月別の売上高等の状況の集計科目を設定する画面が表示されます。

※集計項目の変更方法に関しては手順6.と同様の手順で行います。

8. 月別の売上高等の状況の集計科目を設定し(①)、[次へ] ボタンをクリックします(②)。

内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版NXVer2(概況書)

※「月別の売上高等の状況」の集計科目を設定して下さい

科目	集計項目	
売上(収入)金額①	4111:売上高	その他1科目
売上(収入)金額②	未設定	
仕入金額①	未設定	
仕入金額②	未設定	
外注費	5431:外注加工費(原)	
人件費	5421:賃金手当(原)	その他2科目
予備①	未設定	
予備②	未設定	

項目設定(S)

②

< 戻る(B) [次へ(N)] 終了(ESC)

確認画面が表示されます。

※集計項目の変更方法に関しては手順6.と同様の手順で行います。

9. [実行] ボタンをクリックします。

内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版NXVer2(概況書)

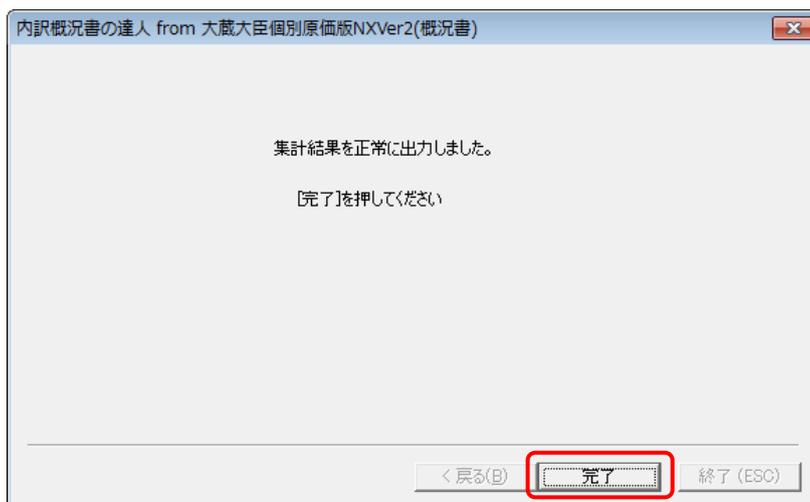
以下の内訳書データを作成します。
よろしければ、[実行]を押して下さい。

会社名称 : 株式会社 ○○
 本支社名称 :
 会社コード : 1
 会計期 : 1
 会計期間 : 平成24年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日
 消費税集計方法 : 税込で集計する
 集計期間 : 平成24年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日(期首・決算含む)

< 戻る(B) [実行(C)] 終了(ESC)

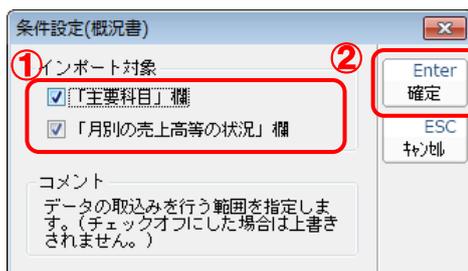
集計結果出力完了画面が表示されます。

10. [完了] ボタンをクリックします。



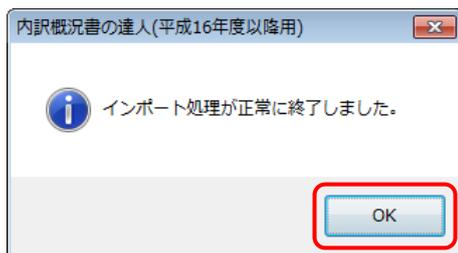
[条件設定(概況書)]画面が表示されます。

11. [インポート対象] を設定して (①)、[確定] ボタンをクリックします (②)。



完了画面が表示されます。

12. [OK] ボタンをクリックします。



データの作成(中間ファイルの作成)が終了すると同時に、「内訳概況書の達人」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは終了です。



注意

1.科目設定について

- ・ 「大蔵大臣個別原価 NXVer2」の勘定科目の名称を追加・変更・削除した場合は、概況書の科目への設定も必ず変更してください。
- ・ 「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」ダイアログで概況書の主要科目(売上科目)を変更して転送データを作成すると、作業ログの「詳細」欄に変更した勘定科目名が記録されます。

2.兼業売上(収入)高の科目設定

- ・ 兼業種目に係る売上(収入)高がある場合、概況書の主要科目の割り当てには「兼業売上(収入)高」を選択してください。なお、概況書の「売上(収入)高」欄には、兼業種目に係る売上(収入)高を加算した売上(収入)金額が記載されます。

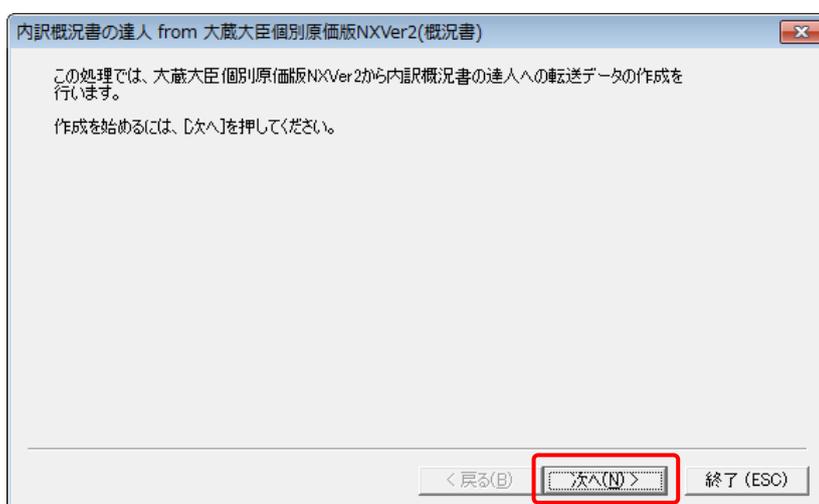
パターン②

「大蔵大臣個別原価版NXVer2」と「内訳概況書の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

1. Windows のスタートメニュー [すべてのプログラム] - [達人シリーズ] - [連動コンポーネント] - 「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2 (概況書)」をクリックします。

[内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2 (概況書)]画面が表示されます。

2. [次へ] ボタンをクリックします。



[データ選択]画面が表示されます。

3. 「内訳概況書の達人」に取り込む「大蔵大臣個別原価版 NXVer2」のデータをクリックして選択し ①、[次へ] ボタンをクリックします ②。



集計期間と経理処理方式を指定する画面が表示されます。

4. 集計期間と経理処理方式、及び作成するデータの出力先とファイル名を指定し (①)、 [次へ] ボタンをクリックします (②)。

内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版NXVer2(概況書)

① 集計期間と経理処理方式を指定して下さい。

期間 : 2012/04/01 ~ 2013/03/31

仮決算伝票を集計する(D)
 決算伝票を集計する(K)
 期首伝票を集計する(D)

消費税集計方法: 税込 税抜

集計結果出力先・ファイル名を指定して下さい

C:\Program Files\OHKEN\JCNXV2\TMP*株式会社 ○○.xml

参照(S)

②

<戻る(B) 次へ(N) 終了(ESC)

主な損益科目の集計項目を設定する画面が表示されます。

※[出力先]は[参照]ボタンをクリックして表示される画面から変更できます。

5. 主な損益科目の集計項目を設定し (①)、[次へ] ボタンをクリックします (②)。

内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版NXVer2(概況書)

※「主な損益科目」の集計項目を設定して下さい

①

科目	集計項目	
売上(収入)高	4111:売上高	その他1科目
上記の汚兼業売上(収入)高	未設定	
売上(収入)原価	未設定	
期首棚卸高	未設定	
原材料費(仕入高)	未設定	
労務費	5421:賃金手当(原)	その他2科目
外注費	5431:外注加工費(原)	
期末棚卸高	未設定	
減価償却費	未設定	
地代家賃・租税公課	未設定	
売上(収入)総利益	未設定	
役員報酬	未設定	
従業員給料	未設定	
雑費	未設定	

項目設定(S)

②

<戻る(B) 次へ(N) 終了(ESC)

主な貸借科目の集計項目を設定する画面が表示されます。

※[項目設定]ボタンをクリックして表示される画面から設定します。

※リスト上に表示されていない集計先を選択したい場合は、[科目選択]画面の「全ての科目から選択する」にチェックを付けると、リストに表示されていなかった他の集計先科目も表示されます。

6. 主な貸借科目の集計項目を設定し (①)、[次へ] ボタンをクリックします (②)。

内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版NXVer2(概況書)

※「主な貸借科目」の集計項目を設定して下さい

科目	集計項目	
① 負債の部合計		
現金預金	1111:現金	その他5科目
受取手形	未設定	
売掛金	未設定	
棚卸資産(未成工事支出金)	1131:商品	その他31科目
貸付金	未設定	
建物	未設定	
機械装置	未設定	
車両・船舶	未設定	
土地	未設定	
負債の部合計		
支払手形	未設定	
買掛金	未設定	
他人借入金	未設定	

項目設定(S)

② <戻る(B) [次へ(N)] 終了(ESC)

月別の売上高等の状況の集計科目を設定する画面が表示されます。
 ※集計項目の変更方法に関しては手順 6.と同様の手順で行います。

7. 月別の売上高等の状況の集計科目を設定し (①)、[次へ] ボタンをクリックします (②)。

内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版NXVer2(概況書)

※「月別の売上高等の状況」の集計科目を設定して下さい

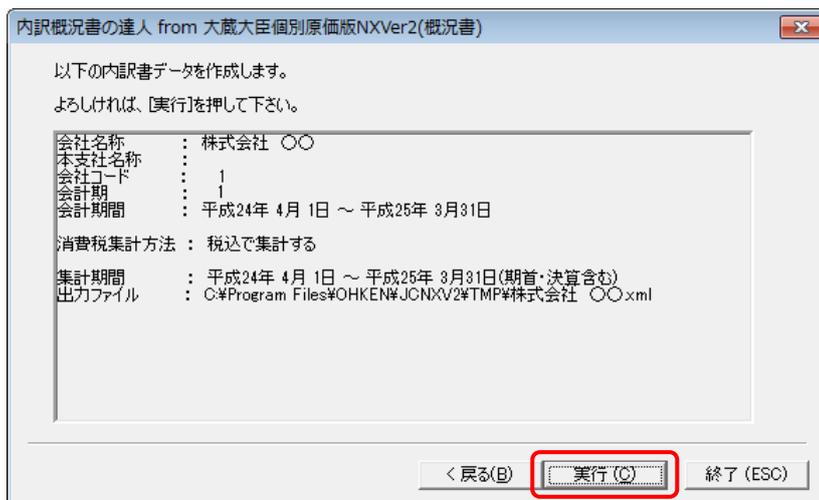
科目	集計項目	
① 売上(収入)金額①	4111:売上高	その他1科目
売上(収入)金額②	未設定	
仕入金額①	未設定	
仕入金額②	未設定	
外注費	5431:外注加工費(原)	
人件費	5421:賃金手当(原)	その他2科目
予備①	未設定	
予備②	未設定	

項目設定(S)

② <戻る(B) [次へ(N)] 終了(ESC)

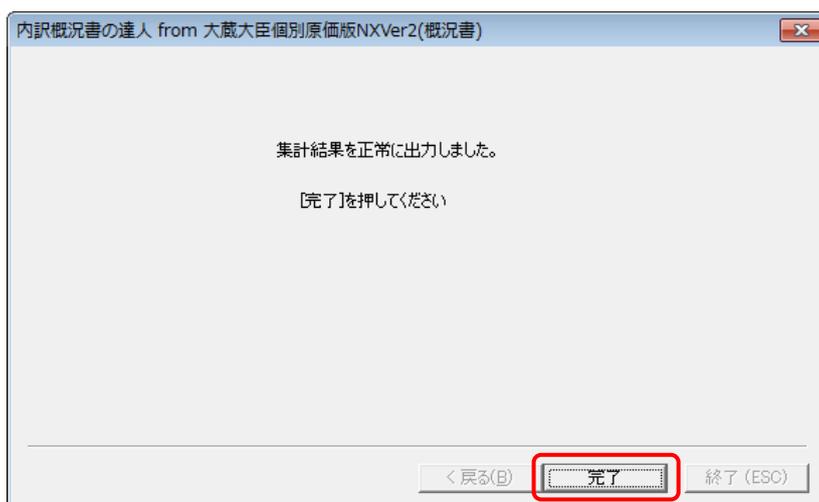
確認画面が表示されます。
 ※集計項目の変更方法に関しては手順 6.と同様の手順で行います。

8. [実行] ボタンをクリックします。



集計結果出力完了画面が表示されます

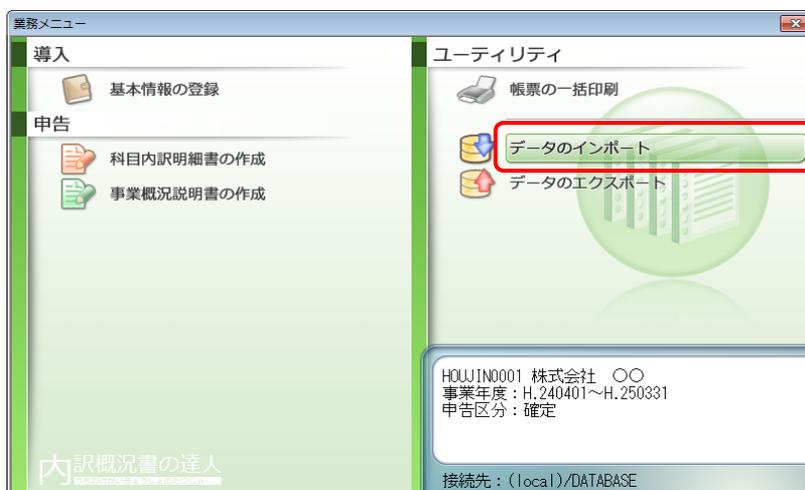
9. [完了] ボタンをクリックします。



手順 4.で指定した出力先に、中間ファイルが作成されます。

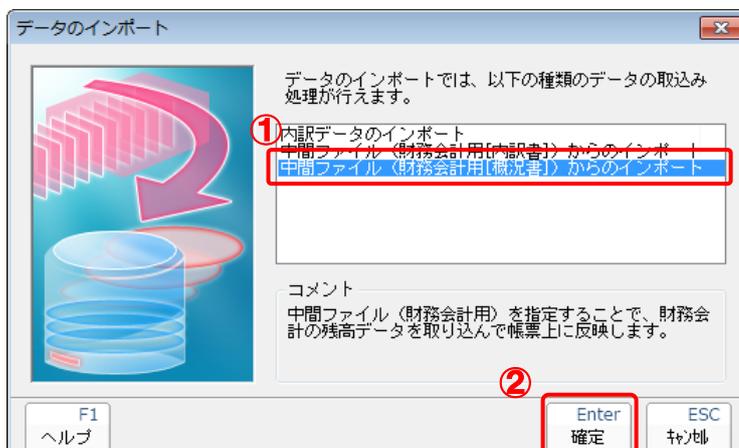
10. 作成された中間ファイルを、USB メモリなどの媒体やネットワークを介して「内訳概況書の達人」がインストールされているコンピュータに移動します。

11. 「内訳概況書の達人」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー [データのインポート] をクリックします。



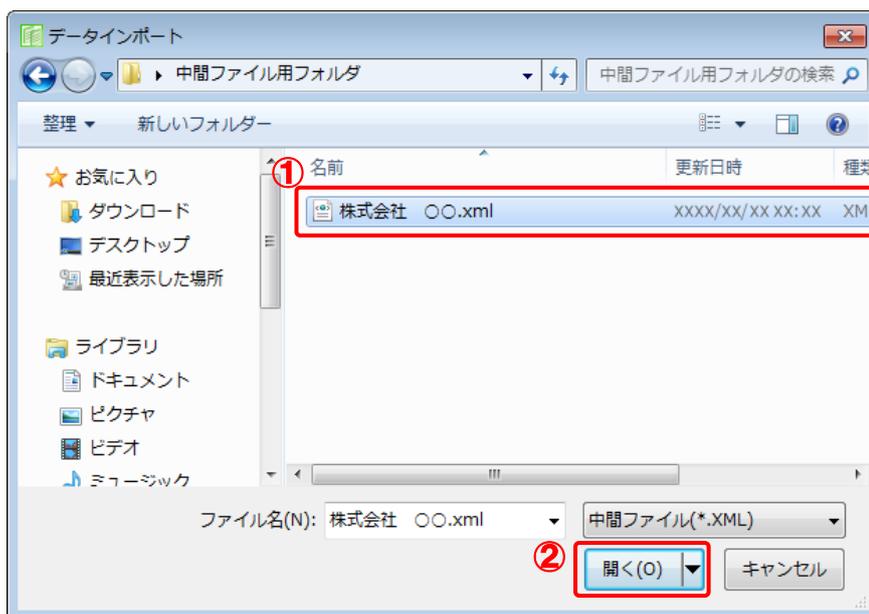
[データのインポート]画面が表示されます。

12. [中間ファイル(財務会計用 [概況書])からのインポート] をクリックして選択し (①)、[確定] ボタンをクリックします (②)。



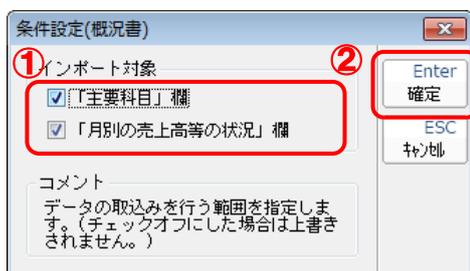
[データインポート]画面が表示されます。

13. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く] ボタンをクリックします(②)。



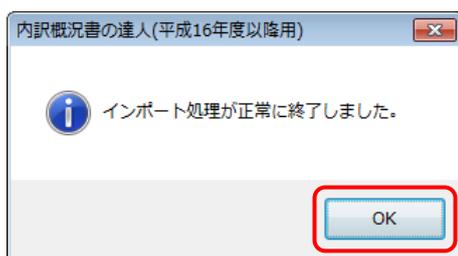
[条件設定(概況書)]画面が表示されます。

14. [インポート対象]を設定して(①)、[確定] ボタンをクリックします(②)。



完了画面が表示されます。

15. [OK] ボタンをクリックします。



[業務メニュー]画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは終了です。



注意

1.科目設定について

- ・ 「大蔵大臣個別原価 NXVer2」の勘定科目の名称を追加・変更・削除した場合は、概況書の科目への設定も必ず変更してください。
- ・ 「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」ダイアログで概況書の主要科目(売上科目)を変更して転送データを作成すると、作業ログの「詳細」欄に変更した勘定科目名が記録されます。

2.兼業売上(収入)高の科目設定

- ・ 兼業種目に係る売上(収入)高がある場合、概況書の主要科目の割り当てには「兼業売上(収入)高」を選択してください。なお、概況書の「売上(収入)高」欄には、兼業種目に係る売上(収入)高を加算した売上(収入)金額が記載されます。

6.連動対象項目

「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」では、「大蔵大臣個別原価版 NXVer2」の月次比較試算表と勘定科目登録(又は小計科目登録)よりデータを取り込みます。

「大蔵大臣個別原価版NXVer2」から連動するデータ(連動元)

金額は、メニュー[経理帳票]→サブメニュー[月次比較試算表]で1月ごとに計算したデータが連動されます。

The screenshot shows the software interface with the following elements:

- Menu Path:** 経理帳票 (21) → 月次比較試算表 (12). A red box highlights '21 経理帳票' and '12 月次比較試算表'. A red arrow points from the highlighted menu item to the trial balance table below.
- Account Balances Table:**

勘定科目	H24/11/30
【資産の部】	
1111 現金	588,117
1112 当座預金	7,890,273
1113 普通預金	9,808,884
1114 通知預金	
1115 定期預金	
1116 定期預金	-15,800,000
1121 受取手形	
1122 売掛金	19,425,000
1125 有価証券	
0002 固定資産計	21,980,074
1131 商品	
1132 製品	
1134 原材料	
1136 貯蔵品	
0004 固定資産計	
0017 仕掛品合計	-8,788,348
1411 貯蓄金	
1412 貯蓄費用	
1413 繰越税金資産	
1414 短期貸付金	-3,444,280
1415 未収入金	290,250
1416 未収消費税	
1417 立替金	8,808
1418 借入金	-128,658
1419 借入消費税	860,188
1421 貯蓄金	
1422 未収収益	
1426 事業主勘定(貸)	
1431 貸倒引当金 △	
0018 その他流動資産計	-2,414,722
0019 流動資産計	10,776,003
1511 建物	
1512 建物付属設備	
1513 構築物	
1514 機械・装置	
1515 車両・運搬具	
1518 什器・備品	
1521 土地	

システム科目は、メニュー[マスター登録]ーサブメニュー[勘定科目登録]又は[小計科目登録]ー[システム科目]で確認できます。

The screenshot shows the main menu of the software. The '登録業務' (Registration Business) menu is highlighted, and the '61 マスター登録' (61 Master Register) option is selected. A sub-menu is displayed, showing '11 勘定科目登録' (11 Account Register) selected. A red arrow points from this menu path to a table of account codes.

コード	使	勘定科目名	短縮名	勘	期首残高	補	借消	貸消	借事	貸事	原	次	科目分類	
1111	○	現金	現金	ケン	(0)	無	000	000	*	*	×	×	現金	
1112	○	当座預金	当座預金	トケ	(0)	有	000	000	*	*	×	×	現金	
1113	○	普通預金	普通預金	フツ	(0)	有	000	000	*	*	×	×	現金	
1114	○	通知預金	通知預金	ツツ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	現金	
1115	○	定期預金	定期預金	キョ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	現金(定期)	
1116	○	定期預金	定期預金	キョ	(0)	有	000	000	*	*	×	×	現金(定期)	
1117	×	特定金銭信託	特定信託	トク	(0)	無	000	000	*	*	×	×	現金	
1118	×	その他預金	ツツ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	×	その他当座預金	
1119	×	その他預金	ツツ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	×	その他当座預金	
0001	×	現金計	現金計	ケ	(0)	**	**	**	*	*	**	**	当座資産	
1121	○	受取手形	受取手形	ケ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	当座資産	
1122	○	売掛金	売掛金	ケ	(0)	無	000	000	*	*	○	×	当座資産	
1123	×	その他当座資産	ツツ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	×	当座資産	
1124	×	その他当座資産	ツツ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	×	当座資産	
1125	○	有価証券	有価証券	ケ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	有価証券	
1126	×	その他当座資産	ツツ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	×	有価証券	
0002	×	その他当座資産計	他当座資産	ケ	(0)	**	**	**	*	*	**	**	当座資産	
0003	○	当座資産計	当座資産計	ケ	(0)	**	**	**	*	*	**	**	流動資産	
1131	○	商品	商品	ケ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	棚卸し資産	
1132	○	製品	製品	ケ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	棚卸し資産	
1133	×	半製品	半製品	ケ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	棚卸し資産	
1134	○	原材料	原材料	ケ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	棚卸し資産	
1135	×	仕掛品	仕掛品	ケ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	棚卸し資産	
1136	○	貯蔵品	貯蔵品	ケ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	棚卸し資産	
1137	×	その他たな卸資産	ツツ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	×	棚卸し資産	
1138	×	その他たな卸資産	ツツ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	×	棚卸し資産	
1138	×	その他たな卸資産	ツツ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	×	棚卸し資産	
0004	○	たな卸資産計	たな卸資産	ケ	(0)	**	**	**	*	*	**	**	流動資産	
0007	○	仕掛品合計	仕掛品合計	ケ	(0)	**	**	**	*	*	**	**	流動資産	
1411	○	前借金	前借金	ケ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	その他流動資産	
1412	○	前払費用	前払費用	ケ	(0)	無	000	000	*	*	×	×	その他流動資産	
対 応 科 目														
借方合計					0									
貸方合計					0									

「内訳概況書の達人」に連動するデータ (連動先)

「内訳概況書の達人」に連動する帳票は以下のとおりです。次ページ以降の各帳票の網掛け部分が連動対象項目です。

法人事業概況説明書【平成 20 年 4 月 1 日以後終了事業年度用】

表面、裏面

法人事業概況説明書【平成 19 年 4 月 1 日以後終了事業年度用】

表面、裏面

法人事業概況説明書【旧様式】

表面、裏面



注意

データの作成を行う前に、以下の集計先の設定が正しく行われているかどうかを必ず確認してください。

- ・「主要科目」の集計項目の設定
- ・「月別の売上高等の状況」の集計科目の設定

「大蔵大臣個別原価版 NXVer2」の会計データの勘定科目リストと連動しています。

「大蔵大臣個別原価版 NXVer2」の会計データの勘定科目を追加・変更・削除した場合は、必ず集計先の設定を変更してください。

法人事業概況説明書【平成 20 年 4 月 1 日以後終了事業年度用】

表面

法人事業概況説明書 FB1005

別添「法人事業概況説明書の書き方」を参考に記載し、法人概況書等に一致確認して提出してください。
 注1 営業年度が異なる場合は、必ず「事業年度」を「事業年度」の欄に記載してください。
 注2 「代表者に対する報酬等の金額」の欄は、役員報酬、役員給与、役員退職慰労金等の金額を記載してください。

法人名 株式会社 ○○	事業年度 平成 22 年 03 月 31 日	自平成 12 年 04 月 01 日	至平成 22 年 03 月 31 日	税務署 処理欄	管理番号
納税地 〒	電話番号 () - () - ()	ホームページ アドレス	応答者 氏名		
1 事業内容	2 支店・海外取引状況	(1) 支店数 支店所在地	(2) 支店数 上記のうち海外支店数	(3) 取引種別 輸入 輸出 両方	(4) 取引金額(百万円) 取引金額
	(3) 支店数 海外子会社の数	(4) 支店数 支店所在地	(5) 支店数 支店所在地	(6) 支店数 支店所在地	(7) 支店数 支店所在地
3 期末従業員 の状況 単位 人	(1) 常勤役員	(2) 常勤役員	(3) プログラム	(4) 電子計算機	(5) 利用状況
	(4) 期末従業員	(5) 期末従業員	(6) 期末従業員	(7) 期末従業員	(8) 期末従業員
7 売上(収入)高	売上(収入)高	売上(収入)高	売上(収入)高	売上(収入)高	売上(収入)高
	売上(収入)高	売上(収入)高	売上(収入)高	売上(収入)高	売上(収入)高
8 インターネットバンキング等の利用の有無	インターネットバンキング等の利用の有無	インターネットバンキング等の利用の有無	インターネットバンキング等の利用の有無	インターネットバンキング等の利用の有無	インターネットバンキング等の利用の有無
	インターネットバンキング等の利用の有無	インターネットバンキング等の利用の有無	インターネットバンキング等の利用の有無	インターネットバンキング等の利用の有無	インターネットバンキング等の利用の有無

OCR入力用(この用紙は機械で読み取ります。折ったり汚したりしないでください。)

この用紙は「法人概況書」に添付して提出してください。

法人事業概況説明書【平成 19 年 4 月 1 日以後終了事業年度用】

表面

法人事業概況説明書 FB1004

別冊「法人事業概況説明書の書き方」を参考に記載し、法人概況や事業に一部誤りして提出してください。
 なお、記載事項が不足する事項については、注を添付して、書きの目的に添った事項を記載してください。

整理番号

法人名 株式会社 ○○ 事業年度 自平成 19 年 04 月 01 日 税務署 〇〇〇〇
 至平成 20 年 03 月 31 日 処理欄

納税地 〒 電話番号 () - 応答者 氏名

1 事業内容

2 支店・海外取引状況

(1) 支店数 (2) 海外取引状況

(3) 取引種別 (4) 取引種別

(5) 取引種別 (6) 取引種別

3 期末従業員等の状況

(1) 常勤従業員 (2) 非常勤従業員

(3) 退職者 (4) 退職者

(5) 退職者 (6) 退職者

(7) 退職者 (8) 退職者

4 電子計算機

(1) 利用 (2) 利用

(3) プログラム (4) 適用業務

(5) 機種名 (6) 機種名

(7) 委託先 (8) LAN

(9) LAN (10) LAN

5 区分氏名 代表者との関係

(1) 現金 (2) 現金

(3) 現金 (4) 現金

(5) 現金 (6) 現金

(7) 現金 (8) 現金

(9) 現金 (10) 現金

6 株主又は株式所有異動の有無

7 主要科目

売上(収入)高 資産の部合計

売上(収入)原価 現金預金

期首棚卸高 受取手形

原材料費(仕入高) 売掛金

外注費 債権控除

期末棚卸高 貸付金

減価償却費 建物

地代家賃・租税公課 機械装置

売上(収入)総利益 債権控除

役員報酬 土地

従業員給料 負債の部合計

交際費 支払手形

減価償却費 買掛金

地代家賃・租税公課 個人借入金

営業損益 その他借入金

支払利息割引料 資本の部合計

税引前当期損益 1. 営業に2017年度は消費税、全額課税対象に2017年度は、支払利息割引料を記載してください。
 2. 全額課税対象に2017年度は、売掛金には未収利息、買掛金には未払利息を記載してください。
 3. 資産の部合計=負債の部合計+資本の部合計
 4. 注(貴法人)が同族会社の場合は、以下の欄についても記載してください。

8 代表者に対する報酬等の金額

報酬 貸付金 買掛金 買掛金

支払利息 借入金 買掛金 買掛金

OCR入力用(この用紙は機械で読み取ります。折ったり汚したりしないでください。)

この用紙はマヨカミでないでください。



9 事業の 形態	(1) 事業の状況 (事業割合) %		10 主な設備等の状況				
	(2) 事業内容の特異性		11 インターネットバンキング等の利用状況 (1) インターネットバンキングの利用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	(3) 売上区分		(2) フォームバンキングの利用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
12 決算日の 状況	売上 締切日	現金売上	% 掛売上	14 税理士の 関係状況			
	仕入 締切日			(1) 氏名			
13 帳簿類の 備付状況	外注費 締切日			(2) 事務所所在地			
	給料 締切日		支給日	(3) 電話番号			
帳簿書類の名称				(4) 関与状況			
				<input type="checkbox"/> 単独者の作成 <input type="checkbox"/> 調査立会 <input type="checkbox"/> 税務相談			
				<input type="checkbox"/> 内源書の作成 <input type="checkbox"/> 払戻の整理 <input type="checkbox"/> 補助簿の記録			
				<input type="checkbox"/> 繰勘定元帳の記録 <input type="checkbox"/> 源泉徴収関係事務			
				15 加入組合等の 状況			
				(役職名)			
				(役職名)			
				営業時間 開店 時 閉店 時			
				定休日 毎週 (毎月) 曜日 (日)			
16 売上の 高率等 の状況	月別	売上(収入)金額	仕入金額	外注費	人件費	源泉徴収 税額	従事 員数
	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
計							
前 期の 差異							
17 当期の 概要							

法人事業概況説明書【旧様式】

表面

秘 法人事業概況説明書 FB1004

(一) この法人事業概況説明書は、責任(責任人)の事業内容・事業の経緯等について記載していただくことにより、税務署の調査・指導等に際して法人の事業を説明するためのものではありません。各事業についておこなったことと異なるよう誤解を招く恐れがあるため、資料によっては、記載事項が正確でない場合があります。そのときは訂正の旨を記載して提出してください。なお、この法人事業概況説明書は、提出される法人税申告書と一緒に添付して提出してください。提出された法人事業概況説明書は、税務署において保管して取扱いをします。

整理番号

法人名 株式会社 ○○	事業年度 平成18年 至平成19年	日 04月 01日	時 01時 31分	税務署 処理欄
納税地 〒	電話番号 () - () - ()	応答者氏名		

1 事業内容

2 支店・海外取引状況 (1) 支店数 上記のうち 海外支店数	3 取引種別 (3) 取引種別 輸入 <input type="checkbox"/> 輸出 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 輸出種別 輸出品 <input type="checkbox"/> 加工品 <input type="checkbox"/> 委託品(下付)	4 取引種別 (4) 取引種別 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 子数料 <input type="checkbox"/> ロイヤリティ <input type="checkbox"/> 技術の提供 <input type="checkbox"/> 設備の提供 <input type="checkbox"/> 海外子会社の数 <input type="checkbox"/> 子会社の業種 <input type="checkbox"/> 金融の提供 <input type="checkbox"/> 不動産の提供 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
--	---	---

3 期末従業員等の状況

(1) 常勤役員 <input type="checkbox"/>	(1) 利用 <input type="checkbox"/> (2) 電算機 <input type="checkbox"/>	(1) 区分氏名 代表者との関係
(2) 期末従業員 <input type="checkbox"/>	(3) プログラム <input type="checkbox"/>	(2) 現金 管理者 <input type="checkbox"/>
(3) 期末従業員の内訳 <input type="checkbox"/>	(4) 適用業務 <input type="checkbox"/>	(3) 小切手 作成状況 <input type="checkbox"/>
(4) 期末従業員の内訳 <input type="checkbox"/>	(5) 機種名 <input type="checkbox"/>	(4) 配当 毎月 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/>
(5) 期末従業員の内訳 <input type="checkbox"/>	(6) 特許権・ソフトの名称 <input type="checkbox"/>	(5) 配当 毎月 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/>
(6) 期末従業員の内訳 <input type="checkbox"/>	(7) 委託先 <input type="checkbox"/>	(6) 配当 毎月 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/>
(7) 期末従業員の内訳 <input type="checkbox"/>	(8) LAN <input type="checkbox"/>	(7) 配当 毎月 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/>
(8) 期末従業員の内訳 <input type="checkbox"/>	(9) 保存媒体 <input type="checkbox"/>	(8) 配当 毎月 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/>
(9) 期末従業員の内訳 <input type="checkbox"/>		(9) 配当 毎月 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 給与 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/> 配当 <input type="checkbox"/>

7 主要科目

売上(収入)高	資産の部合計	現金預金
上記のうち重要売上(借入金)	受取手形	受取手形
売上(収入)原価	売掛金	売掛金
期首棚卸高	債権資産(未成工事支出金)	債権資産(未成工事支出金)
原材料費(仕入高)	貸付金	貸付金
労務費	建物	建物
外注費	機械装置	機械装置
期末棚卸高	備前・給付	備前・給付
減価償却費	土地	土地
地代家賃・租税公課	負債の部合計	負債の部合計
売上(収入)総利益	支払手形	支払手形
役員報酬	買掛金	買掛金
従業員給料	個人借入金	個人借入金
交際費	その他借入金	その他借入金
減価償却費	資本の部合計	資本の部合計
地代家賃・租税公課	営業損益	営業損益
営業損益	支払利息割引料	支払利息割引料
支払利息割引料	税引前当期損益	税引前当期損益
税引前当期損益		

8 代表者に対する報酬等の金額

報酬	貸付金	買掛金	買掛金
報酬	貸付金	買掛金	買掛金
報酬	貸付金	買掛金	買掛金
報酬	貸付金	買掛金	買掛金

注1 重要売上とは原料費・労務費・設備費に占める割合が大きい売上を指します。
注2 重要売上代価とは、売掛金には未収利息、買掛金には未払利息を記載してください。
注3 資産の部合計＝負債の部合計＋資本の部合計
注4 法人(農法人)が同族会社の場合は、以下の欄についても記載してください。

OCR入力用(この用紙は機械で読み取ります。折ったり汚したりしないでください。)

この用紙はマヨリまなびでください。

裏面

9 事業の 形態	(1) 業種 (業種目)		(2) 業種 (業種目) %		10 主 な 設 備 等 の 状 況		
	(3) 売上区分		現金売上	%		掛売上	%
11 決算 日の 状 況	売上	締切日	決済日		13 氏 名 (1) 税 理 士 の 関 与 状 況 (2) 専 業 法 人 の 代 理 人 (3) 電 話 番 号 (4) 関 与 状 況 <input type="checkbox"/> 事務書の作成 <input type="checkbox"/> 調査立会 <input type="checkbox"/> 税務相談 <input type="checkbox"/> 決算書の作成 <input type="checkbox"/> 伝票の整理 <input type="checkbox"/> 補助簿の記帳 <input type="checkbox"/> 繰勘定元帳の記帳 <input type="checkbox"/> 源泉徴収関係事務		
	仕入	締切日	決済日				
	外注費	締切日	決済日				
	給料	締切日	決済日				
12 帳 簿 類 の 備 付 状 況	帳簿書類の名称				14 加入 組合 等 の 状 況 (役職名) (役職名) 営業時間 開店 時 閉店 時 定休日 毎週 (毎月) 曜日 (日)		
15 月 別 の 売 上 高 等 の 状 況	月別	売上(収入)金額	仕入金額	外注費	人件費	源泉徴収 税額	月 末 従業員数
	4月	千円	千円	千円	千円	千円	人
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
計							
前 期 の 実 績							
16 当 期 の 実 績							

7.アンインストール方法

「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

Microsoft Windows 7/Vista では、アンインストール作業中に[ユーザーアカウント制御]画面が表示されることがあります。その場合は[はい]ボタンをクリックして作業を進めてください。

- 1. Windows のスタートメニュー [コントロールパネル] をクリックします。**
[コントロールパネル]画面が表示されます。
- 2. [プログラムのアンインストール] をクリックします。**
[プログラムのアンインストールまたは変更]画面が表示されます。
- 3. [内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2 (概況書)] をクリックして選択し、[アンインストールと変更]をクリックします。**
[ファイル削除の確認]画面が表示されます。
- 4. [OK] ボタンをクリックします。**
アンインストールが開始されます。
- 5. メンテナンスの完了画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。**

以上で、「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」のアンインストールは終了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

- ・「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」のソフトウェア製品全体の著作権、工業所有権の一切の知的財産権は応研株式会社に帰属するものとします。
- ・「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」を使用した結果の損害及び影響について、原因のいかんを問わず、弊社及び応研株式会社は一切の賠償の責任を負いません。
- ・「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」のプログラム及びドキュメント等の一部または全部をどのような場合でもその形態を問わず無断で解析・改造・配布等を行うことはできません。
- ・「内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2(概況書)」のソフトウェア製品仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

**内訳概況書の達人 from 大蔵大臣個別原価版 NXVer2 (概況書)
運用ガイド**

平成 24 年 11 月 9 日初版
